

平成 29 年度不來方高等学校学校経営計画

＜生活五言＞

- 礼 節 を 守 る
- 秩 序 を 保 つ
- 学 習 に 励 む
- 友 情 を 温 め
- 正 義 に 生 き

＜校 訓＞

自由 創造 飛翔

＜行動目標＞

- 場 を 静 め る
- 時 を 守 る
- 礼 を 正 す

＜教 育 目 標＞

人間としての調和のとれた発達を目指し、知・徳・体の調和の中に、真・善・美を求め続ける心豊かな人間の育成を図るとともに、国際的な視野を持ち、心身ともに健康な人間の育成を目指す。

- 真理を求め、自ら主体的に学ぶ人間を育てる。
- 自他を愛し、ふれあいを深め協力しあう人間を育てる。
- 勤労を重んじ、強固な意志と強健な体力を持つ人間を育てる。

＜目指すべき学校の姿＞

- それぞれの個性や能力を活かした生徒一人ひとりの目標実現に向け、基礎学力の定着を図るとともに、五つの学系それぞれに応じた専門教育の向上を目指す。
- 逞しく生き抜く力の育成と知・徳・体の調和のとれた人間形成に向け、高いレベルの文武両道の実現を図る。
- 生徒が誇りを持ち、地域や保護者に愛される学校づくりを推進する。

＜保護者のニーズ＞

- 自立して生活する力の育成
- 基本的生活習慣の確立
- 学習習慣の確立、学力向上
- 進路志望の実現
- 部活動における成果
- 学校からの情報提供と保護者の意見反映

＜生徒のニーズ＞

- わかる授業と基礎学力の定着
- 力のつく指導と能力の向上
- 能力を活かした進路目標の設定とその達成
- 部活動や学系活動など高校生活の充実
- 安全で快適な学校環境の整備

＜地域のニーズ＞

- 地域の発展に貢献できる人材育成
- 文武における高いレベルの活躍
- 地域の児童生徒の模範としての行動
- 地域活動への積極参加

＜学校や地域の特色＞

- 不來方高校は、社会の変化に主体的に対応できる能力を育成するとともに、生徒の個性を伸ばす教育を推進するため、普通科に人文学系・理数学系・芸術学系・外国語学系・体育学系を設け、特色ある教育を実践する学校である。
- 矢巾町唯一の高等学校であることから、地域とのつながりは強く、期待感も大きい。また、学校周辺には岩手医科大学、産業技術短期大学の高等教育機関があり、教育環境は良好である。
- 四年制大学への進学率が高く、難関国公立・私立大学への進学者も出ている。また、学系の特色を活かした進学の結果も十分に現れている。
- 運動部、文化部ともに活動が活発で、9つの種目で強化拠点校の指定を受け、全国レベルの成績を重ねている。また、ボランティア活動にも、部・委員会または個人として積極的に取り組んでいる。

平成29年度重点目標

生徒個々の課題に対応した教育の実践

総合生活力:生徒が将来の社会人・職業人として自立して生きるために必要な能力の育成
人生設計力:生徒が主体的に人生設計を立て、進路を選択し、決定できる能力の育成

生徒の学力向上と 教員の授業力の 向上

1 学力向上

- 基礎基本の確実な定着を図る。
 - ・授業規律の確立、維持、徹底
 - ・生徒個々の課題の把握、情報共有
 - ・授業時数の確保
- 学習習慣の定着を図る。
 - ・学習意欲の醸成
 - ・授業以外における学習時間の確保
 - ・課題等の工夫
- 学力向上について叡智を結集する。

2 授業力向上

- 授業力向上を計画的に推進する。
 - ・授業力向上週間における校内研修の充実
 - ・県教委研修や他校訪問等の研修内容の共有、共通理解

3 文字・活字からの 情報収集力向上

- 読書習慣の定着
 - ・朝読書時間の充実
 - ・読書の大切さについての啓蒙
- 新聞を読む力、意見を構築する力、表明する勇氣、表現する力を育む。

生徒指導の充実と 生徒の自立性・社 会性の向上

1 生徒指導

- 不來方高生として自覚と誇りを涵養する。
 - ・人としてのあり方について組織的・継続的に適時的確な指導
 - ・礼節、秩序、友情、正義に係る考察の深化、意識の涵養
- いじめ防止の校内体制を充実する。

2 自立性・社会性

- 主体的に考え行動できる生徒を育成する。
 - ・自ら考え行動するHR、生徒会活動への適時的確な助言や指導
- 主権者教育の推進
 - ・選挙権年齢となる自覚の涵養
 - ・政治参加の重要性、選挙の意義の理解

3 部活動の活性化

- 部活動を通して、心・技・体の向上を図り、深い友情を育む。
- 指導者は、有効で効果的な練習方法の研究・開発・実践に務める。

進路指導の充実と 学系の特色を活か した実践の推進

1 進路指導の充実

- 進路志望の確立とその達成に向け組織的に指導する。
 - ・個に応じた丁寧な指導と進路情報の共有の徹底
 - ・模試結果の分析・評価を活かした具体的な対策の実践
- 学系の特色を活かした進路対策を実践する。
 - ・学系の特色に係る意識統一
 - ・特色を活かす進路の研究、開拓
- 地域と連携してキャリア教育の充実を図る。

2 学系を活かす実践

- 学系の特色を活かした多彩な能力や資質を高める。
 - ・芸術・文化・科学・語学・体育などの各種コンクール等への取り組み
- グローバル社会に対応する人材の育成に努める。
 - ・異文化への知識理解を深め、技能を高める指導
 - ・国際的な交流活動の積極的な実践

健康・安全教育の 充実と家庭・地域 との連携

1 健康・安全教育

- 健康の保持・増進や安全のために主体的に行動できる生徒を育む。
 - ・講習、資料等による健康や安全に係る理解の深化
- 悩みを抱える生徒等の支援・援助を的確に行う。
 - ・校内の情報との共有と外部諸機関との連携の強化

2 地域等連携

- PTA・教育振興会等との協力・連携を推進する。
- ボランティアや福祉等の地域の活動に積極的に参加する。

3 復興・防災教育

- いわての復興教育プログラムに取り組む。
 - ・PTA・同窓会と連携した復興支援活動の推進
- 「そなえる」教育活動に取り組む。
 - ・いわての防災スクール実践校として実践的安全教育の実践

平成 29 年度 主な目標指標

保護者の学校満足度（総務）	98.0%以上
H28	93%
生徒の出席率（教務）	99.1%以上
H28	98.8%
年間の生徒皆勤率（教務）	各学年 40%以上
H28 : 1 学年	39.4%
2 学年	33.7%
3 学年	24.7%
平日の家庭学習時間が2時間以上の生徒割合（教務）	各学年 30%以上
H28 : 1 学年	8.8%
2 学年	17.9%
3 学年	59.9%
「授業の内容がわかる（1・2年英・数）」と答えた生徒割合（教務）	66%以上
H28 : 英語	65.9%
数学	68.1%
「人が困っているときは、進んで助けている」と答えた生徒割合（生徒指導）	82%以上
H28 : 2 学年	96%
自分には良いところがあると思っている生徒割合（教育相談）	60%以上
H28	58%
4年制大学志望者の達成率（進路指導）	90%以上
H28	85.8%
国公立大学の合格者数（進路指導）	70人以上
H28	71人
就職希望者の就職率（進路指導）	100%
H28	100%
心臓・貧血・尿検査要受診者の受診率（保健厚生）	心臓・尿 100%
H28 心臓	64%
	貧血 70%以上
H28 貧血	25%
図書の間年利用冊数（図書）	2,500冊以上
H28	759冊
電気・水道・灯油・重油等の使用量（事務）	前年度実績の維持